

みなみ公民館だより 8月号

令和5年8月1日 発行

蕨市立南公民館 蕨市南町 2-23-19 TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761

No.405



夏休み子ども教室 サイエンス教室 玉ねぎの皮でしぼり染めにチャレンジ！



7月27日(火)にサイエンス教室が開催され、玉ねぎの皮という身近な素材で染め物に挑戦しました。子ども達は、思い思いの模様を考え、その通りに染めることができるよう工夫していました。

玉ねぎの皮は、蕨市学校給食センター・公民館利用者の皆様からいただきました。ありがとうございます！

中学生ワーキングウィーク実施！

7月11日(火)～13日(木)の3日間、蕨市立第一中学校から2名が職場体験に来てくれました！最初は緊張していましたが、徐々に仕事を覚え、積極的に挨拶していました。

3日間お疲れ様でした！

また、三つのバネ体操・いきいき100歳体操の皆様はご協力いただきありがとうございました。



今回の職場体験では、様々なことを学ばせて頂きました。たとえば接客の仕方や、社会人としての常識についてなど分かりました。接客については、ちゃんと人見知りせずに、自分の長所を出すことができました。また、公民館の仕事を通して、人と触れ合う楽しさを知ることが出来ました。 A.K

今回の職場体験で、公民館でどのような仕事をしているのか学ばせて頂きました。中でも「粗大ごみ収集券」の販売をしてみて、今まで考えていなかった接客の仕事もやってみたいと思いました。

この体験学習を通して、仕事とはお金のためだけではなく社会を成り立たせる上で必要なことだということ学ばせて頂きました。 S.K

講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 8月12日(土) 午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※事前にお申込みが必要です

◆みんなで歌おう平和の想い

日時 8月17日(木) 午前10時～

場所 南公民館 3階集会室

申込不要！みなさんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください！

蕨市立くるみ保育園 おばけフェスタ



先日、年長児主催で全クラス対象の“おばけフェスタ”をしました！！

保育園のホールを会場に、年長児は手づくり“おばけ”のお面をかぶり、つい立に隠れたり、布を被っては「ばあ〜」と驚かせてみたり、白熱の演技（笑）の年長さんでした。しかし小さいクラスには、やさしいおばけになりながらも、おばけを貰ってはいました。（笑）

どのクラスの子ども達も案内された時は、少しドキドキしていた様子がうかがえましたが、最後に年長児が折り紙で折ったアイスをプレゼントすると満足気の子も達でした。

おばけ大賞を職員や子ども達からの投票で決め、大賞に選ばれたおばけさんも、そうでないおばけさん達もみんな喜び、夏の風物詩のひとつとして楽しみました。

園長 加藤 綾子

河鍋暁斎記念美術館 2023年8月展覧会

企画展「暁斎・暁翠 いきもの百科」

同時開催 特別展「第37回かえる展」

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2023年7月1日（土）～8月25日（金）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

暁斎が初めて写生をしたのは数え3歳、蛙であったと、自画伝の『暁斎画談』の中に記載されています。以降、暁斎は様々ないきものの写生を繰り返しながら、それらの生態を記憶にとどめ、写実的な作品はもちろんのこと、戯画や諷刺画など、独自の表現世界を展開させていきました。企画展では、父の暁斎と娘の暁翠が描いた動物画が、7月から引き続き展示されています。

また第3展示室では、夏恒例の特別展「かえる展」を開催しております。かえる友の会の会員の皆さんが出品した蛙グッズのコレクションをお楽しみいただけます。

【今月のお勧め作品】

『暁斎画談』外篇卷之上より「暁斎幼時周三郎国芳塾へ入塾ノ図」 暁斎

明治20年（1887）刊 瓜生政和編 岩本俊出版 版本

暁斎が絵を描き、瓜生政和が暁斎の話をまとめた版本の『暁斎画談』から、暁斎が数え7歳で浮世絵師・歌川国芳（1797～1861）の画塾に入門した時を回想して描いた挿絵をご紹介します。

猫好きで有名な国芳が懐に猫を入れ、向かい合って座っている幼い子に手本を示しています。この少年のそばに暁斎の幼名「周三郎」と書かれていることから、少年が幼い頃の暁斎であることがわかります。

